

回収フロン類引取依頼書

令和 年 月 日

(一社)群馬県フロン回収事業協会

地区管理センター 行

充填回収業者登録番号						会員 / 非会員
< 充填回収業者名 >						
住所・TEL						
担当者						

下記のとおり、回収フロン類の引取りを依頼いたします。

※黒枠内をご記入下さい(引取量は小数点第3位を四捨五入し小数点第2位まで記入下さい)

No.	証明書発行宛名 (正式名称)	回収容器番号	ガスの種類	総重量	引取量
1			R -	kg	kg
2			R -	kg	kg
3			R -	kg	kg
4			R -	kg	kg
5			R -	kg	kg
6			R -	kg	kg
7			R -	kg	kg
8			R -	kg	kg
9			R -	kg	kg
10			R -	kg	kg

処理量	処理区分
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊
kg	<input type="checkbox"/> 再生 <input type="checkbox"/> 破壊

証明書発行枚数
枚

容器合計本数
本

引取量合計
kg

管理センターの 引取年月日/印

集荷業者の 預かり年月日/印

回収フロン類処理完了報告書

上記のフロン類について、次のとおり処理が完了しました。

- 上記処理区分の「再生」について、当社再生工場においてフロン類再生処理を実施。
許可番号: 2020S0018 事業所の名称: 株式会社環境総研 上尾工場
- 上記処理区分の「破壊」について、破壊工場に引渡ししフロン類破壊処理を実施。
許可番号: 2022H0003 事業所の名称: 株式会社カツタ

報告書No. 第	号
報告年月日 令和 年 月 日	
株式会社環境総研 上尾工場	
担当者名/印	印

<回収フロン類引取依頼書 の 記載要領>

1 (一社)群馬県フロン回収事業協会 回収フロン類を引渡しする管理センター(中央、西、東、南)名
_____地区管理センター 行 を必ず記入してください。

2 「充填回収業者」欄等

- ア 引取依頼年月日(管理センターに持ち込む日)を記入
- イ 10から始まる6桁の群馬県登録番号を記入
- ウ 充填回収業者名を記入
- エ 会員/非会員の別を明示(○で囲うこと。)
- オ 非会員の場合は、住所及び電話番号を必ず記入

3 回収フロン類等の情報

(1) 証明書発行宛先(正式名称)

証明書の宛先は、正しく記入してください。なお、記入欄が狭いので、特に同一容器で複数の宛先に証明書を発行する場合などは、「ほか〇〇件、別紙のとおり」とし、明細を別紙で添付しても構いません。

(2) 「回収容器番号」欄

容器に刻印された「記号」及び「容器番号」を正しく記入してください。

(3) 「ガスの種類」欄

- ア ガスの区分(CFC、HCFC、HFCの別)は不要です。
- イ ガスの種類(R-22、R134a、R404A、R407C、R410Aなど)を記入します。
- ウ 混合冷媒(R4**、R5**)の場合、後ろのA、B、C・・・は冷媒の開発順に付けられた記号で、それぞれ別の冷媒です。そのため、ガスの種類を記入する時は、省略しないでください。

(例)

R407Cは、R32、R125、R134aの三種混合冷媒ですが、一般的に使われているR407Cのほかにも混合割合の異なるR407A～R407Hがあります。

そのため、× R407 ☞ ○ R407C・・・と正しく記入してください。

(4) 「回収量」等欄

- ア 回収容器の重さを計り、「総重量欄」に記入します。
- イ 回収作業が終わったら、「引取量欄」に記入します。

(5) 一覧表下の各欄

- ア 「証明書発行枚数」欄には、一覧表の「証明書発行宛名」欄をもとに証明書発行枚数を記入します。
- イ 「容器合計本数欄」には、一覧表をもとに引取りを依頼する回収容器の本数を記入します。
- ウ 「回収量合計」欄には、一覧表の「回収量」欄に記載された数値を合計して記入します。

4 その他

(1) 管理センターに引き取りを依頼する際には、太枠の右側の欄には記入しないでください。

(2) 次の引取要件を満たした回収フロン類は、「再生」を基本として処理を行います。

- ア フロン協会の会員からの引取りであること。
- イ 回収容器1本あたりの充填量が5kg以上であること。
- ウ 引取するフロン類の種類が次のガス種であること。

R-22、R32、R134a、R404A、R407C、R410A

(3) 引取要件を満たした回収フロン類であっても、再生純度を満たしていないときは、破壊処理となります。